



表彰された皆さん

気候変動適応計画に高規格堤防

グリーンインフラの位置付けも明記

国土交通省は、同省の気候変動適応計画を改正する。今年6月に気候変動適応法が制定されたことを受けて11月に政府の適応計画が閣議決定されることを踏まえ、2015年に策定した国交省の適応計画を見直す。高規格堤防整備事業と自転車

活用を新たに計画に追加するとともに、グリーンインフラの位置付けを整理し、改めて計画に明記する。

気候変動適応法は、気候変動の影響による水害、土砂災害の増加を踏まえ、温室効果ガスの大幅な削減に向けた国・地方自治体・事

業者・国民の役割を明確にしたもの。政府に対しても、気候変動適応に関する法定計画を定めることを義務付けられており、11月の閣議決定に向けて検討が進んでいる。

国交省は、気候変動適応法の制定と政府の適応計画の閣議決定を見据え、同省の適応計画を改正する。具体的には、首都圏・近畿圏のゼロメートル地帯で

「発生した労働災害発生件数が憂慮すべき状態にあると指摘し」「労働使一丸となつて、労働災害を撲滅し、安心して健康に働くことができる職場の実現に向けて、全ての関係者が重点的に取り組もう」と呼び掛けた。大会では、厚生労働大臣表彰功績賞を受賞した友利寛忠氏（先嶋建設㈱副社長）の伝達表彰が行

進めている高規格堤防整備事業を追加。全国の国道事務所に自転車道を配備し、危機管理体制も強化する。

グリーンインフラについては、社会資本が本来発揮すべき機能に加え、自然環境を活用することで、環境、地域振興、防災・減災などの機能を合わせて発揮させるなど計画に位置付ける。

「HV-300」が県内建設現場に導入され、活躍している。

HV-300は、小型・軽量・大起振力が特長の杭打抜機で、最大起振力929キロニュートン、最大引張荷重は40tonf。シングルチャックと鋼管杭専用チャックがあり、鋼矢板、H形鋼、鋼管杭（杭径500、1500mm）など用途に合わせた組み換えで、幅広い打込み・引抜きに対応する。さらに、本体質量が5350kg（シングルチャック装着時・ウェイト800kg含む）と同クラ

軽量・大起振力で現場に対応 パワーと高い作業性能を両立

調和工業 HV-300

調和工業㈱（永瀨和幸社長）が昨年9月に販売開始した高能力型油圧式バイプロハンマ

「HV-300」が県内建設現場に導入され、活躍している。

HV-300は、小型・軽量・大起振力が特長の杭打抜機で、最大起振力929キロニュートン、最大引張荷重は40tonf。シングルチャックと鋼管杭専用チャックがあり、鋼矢板、H形鋼、鋼管杭（杭径500、1500mm）など用途に合わせた組み換えで、幅広い打込み・引抜きに対応する。さらに、本体質量が5350kg（シングルチャック装着時・ウェイト800kg含む）と同クラ



引抜き工事の様子

機工業の仲宗根守氏は「HV-300は軽量で取り回しがよく、ス

漁港工事のポイント 県漁港建設協会が

沖縄県漁港建設協会（与那嶺恵伸会長）は3日、那覇市の自治会館で同協会主催の講習会を開催し、約60人の会員が参加した。写真。

冒頭、与那嶺会長は「県内の公共工事は、企業の経営状況、施工実績、技術者の能力な

「へに対応」日本大震災で津波や、県内発生した津波（津波）から今で起こりうるという研究内について発表

最新の舗装技術を習得 技術講習会を県内初開催

（一社）日本道路建設業協会沖縄支部（与那嶺恵伸支部長）は2日、浦添市産業振興セ

ンター結の街で平成30年度舗装施工管理技術者技術講習を開催した。講習は舗装施工管理技術者の登録更新者や登録失効者、舗装技術に興味がある人を対象に、最新の舗装技術の習得と向上を目的に全国で開催されているもので、県内での開催は今回が初めて。会員企業の担当者や県内の舗装工事業者ら17人が受講した。

講習では、沖縄総合事務局開発建設部の高良哲治技術企画官や道建設技術委員会の堂尻伸一委員、吉武美智男委員が講師を務め、舗装事業をとりまく環境や安全対策、最近の舗装技術動向などについて講義した。

このうち、沖総局の



高良技術企画課事業をめぐり経済情勢とをテーマに講

また、舗装技術者資格取得を目指す技術者の増加が加算している